

自然教育園の鳥類の種構成について

武 藤 幹 生*

Composition of the Birds in the Institute for Nature Study

Mikio Mutoh*

は じ め に

自然教育園では1984年までに99種（亜種に関しては厳密に記録されていないため、記載にあるトウカイキジ *Phasianus colchicus tohkaidi* Momiyama とコウライキジ *Phasianus colchicus karpowi* Buturlin はキジ *Phasianus colchicus* Linnaeus とし、同種として扱った。また、コジュケイは日本鳥類目録 第6版（日本鳥学会,2000）に従い外来種とした）、1991年までに105種の鳥類が記録されている。

なお、今回和名・学名の表記について検討したが、メボソムシクイやカワラヒワ、アオジなど、亜種までの識別が困難なものが多く、ここでは亜種名でなく種名を表記することにした。亜種が分かっているものについては解説中に記す。

1. 調査方法

本調査では、1998年8月から2000年4月にかけて65回のロードセンサスを行ったほか、1998年4月から2000年11月にかけての350日分の観察記録をまとめた。後者は園内を巡視した際や、園内のカワセミの池に設置してあるビデオカメラに映っていたものなどの記録である。

ロードセンサスは日の出から約30分後に開始し、園内の道をくまなく巡回し記録用紙に従って個体数や観察場所、確認方法、高度、距離などを記録した。雨天時は延期とした。

記録は調査者より20m以内に出現した種を原則としたが、稀種や水鳥類についてはそれより距離があっても記録した。

2. 調査結果

調査の結果、1998~2000年の間に85種が記録され、うち、下記のものが初記録として追録された。

オナガガモ *Anas acuta* Linnaeus

ハシビロガモ *Anas clypeata* Linnaeus

チゴハヤブサ *Falco subbuteo* Linnaeus

マミジロキビタキ *Ficedula zanthopygia* (Hay)

* 国立科学博物館附属自然教育園, Institute for Nature Study, National Science Museum

1988~1991年の調査では66種が記録されており、それに比べ記録種数が19種増えていることになるが、これらのほとんどは春秋の渡りの季節に一時的に自然教育園に立ち寄るもので、基本的な種構成はほとんど変わっていない。

1992~1997年の記録（11種が追録）と今回の調査の結果、自然教育園での総記録種数は120種となった。

なお、上記の記録には外来種及び家禽は含めていないが、外来種ではソウシチョウが初記録となっている。外来種も含めると2000年までの総記録種数は129種となる。

なお、この調査にあたって、藤村仁氏にはセンサスなど多大なご協力をいただいた。また、自然教育園の職員各位には貴重な観察情報を寄せていただいた。心より感謝申し上げる次第である。

3. 鳥類目録

カイツブリ目 PODICIPEDIFORMES

カイツブリ科 PODICIPITIDAE

1 カイツブリ *Podiceps ruficollis* (Pallas)

水生植物園で見られる。繁殖をする年もあり、春から秋頃まで園内に滞在する。

ペリカン目 PELECANIFORMES

ウ科 PHALACROCORACIDAE

2 カワウ *Phalacrocorax carbo* (Linnaeus)

まれに上空を通過する。園内に降りてくることはまずないが、ごくまれに水生植物園の池で観察される。

コウノトリ目 CICONIIFORMES

サギ科 ARDEIDAE

3 ヨシゴイ *Ixobrychus sinensis* (Gmelin)

今回の調査では記録されていない。

4 ゴイサギ *Nycticorax nycticorax* (Linnaeus)

まれに園内の水域で観察される。夏季に多い。

5 ササゴイ *Butorides striatus* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

6 アマサギ *Bubulcus ibis* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

7 ダイサギ *Egretta alba* (Linnaeus)

園内の水域でややまれに見られる。なお、亜種ダイサギ *Egretta alba alba* (Linnaeus) と亜種チュウダイサギ *Egretta alba modesta* (Gray) の両亜種が飛来している。

8 チュウサギ *Egretta intermedia* (Wagler)

今回の調査では記録されていない。

9 コサギ *Egretta garzetta* (Linnaeus)

園内の水域で1, 2羽がよく見られる。水生植物園で見られることが多い。

10 アオサギ *Ardea cinerea* Linnaeus

まれに水生植物園や水鳥の沼で見られる。

ガンカモ目 ANSERIFORMES

ガンカモ科 ANATIDAE

11 オシドリ *Aix galericulata* (Linnaeus)

一年中見られるが冬季特に多く、20羽前後になることもある。繁殖する年もある。

12 マガモ *Anas platyrhynchos* Linnaeus

冬季に普通1, 2羽が園内の水域で見られる。

13 カルガモ *Anas poecilorhyncha* Forster

一年を通して見られるが、幼鳥の移動が始まる秋頃に個体数が増える。2000年に水生植物園の橋で1つの卵を抱卵しているのが観察されているが、すぐに放棄された。

14 コガモ *Anas crecca* Linnaeus

渡りの季節に水生植物園でまれに見られる。雨の日に見られることが多い。

15 トモエガモ *Anas formosa* Georgi

今回の調査では記録されていない。

16 オナガガモ *Anas acuta* Linnaeus

1998年10月8日、水生植物園で藤村仁氏によって初観察され、1999年12月9日にも観察された。都内では珍しくないが園内ではそれまで見られていなかった。

17 ハシビロガモ *Anas clypeata* Linnaeus

1999年2月24日、水生植物園で大澤陽一郎氏により初観察された。

18 ホシハジロ *Aythya ferina* Linnaeus

冬季まれに見られ、2000年1月4日～14日に水鳥の沼と水生植物園で雌個体が1羽観察された。

19 キンクロハジロ *Aythya fuligula* (Linnaeus)

冬季ごくまれに見られる。1999年11月20日に吉野由美子氏によって観察された。

ワシタカ目 FALCONIFORMES

ワシタカ科 ACCIPITRIDAE

20 ハチクマ *Pernis apivorus* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

21 トビ *Milvus migrans* (Boddaert)

まれに上空を飛翔しているのが見られる。以前は園内を集団ねぐらにしていたという。

22 オオタカ *Accipiter gentilis* (Linnaeus)

冬季に多く見られ、ドバト、キジバト、ハシブトガラスなどを捕食している。観察されるのは雌の幼鳥が多い。

23 ツミ *Accipiter gularis* (Temminck & Schlegel)

渡りの季節にごくまれに見られる。1999年10月22日, 水生植物園にて観察。

24 ハイタカ *Accipiter nisus* (Linnaeus)

ごくまれに見られる。2000年10月13日現業舎付近 (藤村仁氏), 同年11月7日水生植物園上空で観察された。

25 ノスリ *Buteo buteo* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

26 サシバ *Butastur indicus* (Gmelin)

今回の調査では記録されていない。

ハヤブサ科 FALCONIDAE

27 ハヤブサ *Falco peregrinus* Tunstall

今回の調査では記録されていない。

28 チゴハヤブサ *Falco subbuteo* Linnaeus

1998年9月9日, インセクタリウム上空で藤村仁氏によって初観察された。

29 チョウゲンボウ *Falco tinnunculus* Linnaeus

まれに観察される。1999年4月8日水生植物園で, 2000年10月5日には高速道路付近で箕輪義隆氏によって観察された。

キジ目 GALLIFORMES

キジ科 PHASIANIDAE

30 キジ *Phasianus colchicus* Linnaeus

今回の調査では記録されていない。調査以前には亜種トウカイキジ *Phasianus colchicus tohkaidi* Momiyama と亜種コウライキジ *Phasianus colchicus karpowi* Buturlin が記録されている。

ツル目 GRUIFORMES

クイナ科 RALLIDAE

31 クイナ *Rallus aquaticus* Linnaeus

今回の調査では記録されていない。

32 ヒクイナ *Porzana fusca* Linnaeus

1998年10月13日に建物跡地付近で矢野亮氏によって観察された。

33 バン *Gallinula chloropus* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

チドリ目 CHARADRIIFORMES

シギ科 SCOLOPACIDAE

34 イソシギ *Actitis hypoleucos* (Linnaeus)

1998年8月6日水生植物園の休憩所付近で観察された。

35 ヤマシギ *Scolopax rusticola* Linnaeus

1998年8月28日に職員通用門付近（藤村仁氏）で、同年11月11日西トイレ付近で観察された。また、2000年4月13日には白金幼稚園より保護個体が持ち込まれた。

36 タシギ *Gallinago gallinago* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

カモメ科 LARIDAE

37 ユリカモメ *Larus ridibundus* Linnaeus

まれに上空を通過していくのが観察される。

38 コアジサシ *Sterna albifrons* Pallas

今回の調査では記録されていない。

ハト目 CORUMBIFORMES

ハト科 COLUMBIDAE

39 キジバト *Streptopelia orientalis* (Latham)

一年を通してよく見られるが、冬季に特に多い。

40 アオバト *Sphenurus sieboldii* (Temminck)

ごくまれにカワセミ池などで見られる。1999年5月21日にカワセミ池のVTRにより記録され、同年12月23日にも同所で観察された。

ホトトギス目 CUCULIFORMES

ホトトギス科 CUCULIDAE

41 カッコウ *Cuculus canorus* Linnaeus

1998年6月11日、水生植物園にて矢野亮氏によって観察された。

42 ツツドリ *Cuculus saturatus* Blyth

1999年5月2日、館跡付近でさえずりが聞かれた。

43 ホトトギス *Cuculus poliocephalus* Linnaeus

1998年6月7日に正門付近で、2000年6月4日には水生植物園で観察された。

フクロウ目 STRIGIFORMES

フクロウ科 STRIGIDAE

44 コミミズク *Asio flammeus* (Pontoppidan)

今回の調査では記録されていない。

45 オオコノハズク *Otus lempiji* (Horsfield)

1999年1月14日にカワセミ池のVTRによって記録された。夜行性であるので園内に定住しているかどうかは不明である。

46 アオバズク *Ninox scutulata* (Raffles)

1999年10月28日に付近の民家の窓ガラスに衝突した個体が保護された。以前は繁殖もしていたようだが、近年は渡りの季節の通過のみと思われる。（写真1）

ヨタカ目 CAPRIMULGIFORMES

ヨタカ科 CAPRIMULGIDAE

47 ヨタカ *Caprimulgus indicus* Latham

今回の調査では記録されていない。

アマツバメ目 APODIFORMES

アマツバメ科 APODIDAE

48 ヒメアマツバメ *Apus affinis* (Gray)

冬季まれに上空を飛翔しているのが見られる。1998年12月17日, 1999年11月27日には水生植物園上空で藤村仁氏によって, 2000年12月8日には路傍植物園上空で藤井幹氏によって観察された。

49 アマツバメ *Apus pacificus* (Latham)

ごくまれ。1998年9月18日水生植物園で藤村仁氏によって観察された。

ブッポウソウ目 CORACIIFORMES

カワセミ科 ALCEDINIDAE

50 カワセミ *Alcedo atthis* (Linnaeus)

秋から冬にかけて水生植物園や水鳥の沼で見られる。繁殖する年もあり, その年は春から夏にも採餌行動が観察できる。

キツツキ目 PICIFORMES

キツツキ科 PICIDAE

51 アリスイ *Jynx torquilla* Linnaeus

今回の調査では記録されていない。

52 アオゲラ *Picus awokera* Temminck

今回の調査では記録されていない。

53 アカゲラ *Dendrocopos major* (Linnaeus)

ごくまれである。2000年5月2日に森の小道で観察された。

54 オオアカゲラ *Dendrocopos leucotos* (Bechstein)

今回の調査では記録されていない。

55 コゲラ *Dendrocopos kizuki* (Temminck)

普通に見られる。毎年3~5つがい程度が園内で繁殖していると思われ, 枯木に巣穴も観察できる。

スズメ目 PASSERIFORMES

ヒバリ科 ALAUDIDAE

56 ヒバリ *Alauda arvensis* Linnaeus

今回の調査では記録されていない。

ツバメ科 HIRUNDINIDAE

57 ツバメ *Hirundo rustica* Linnaeus

夏季に水生植物園で見られる。採餌のみに飛来しているようで、周辺の建築物等に営巣しているものと思われる。

セキレイ科 MOTACILIDAE

58 キセキレイ *Motacilla cinerea* Tunstall

冬季を主にサンショウウオの沢や水鳥の池の前などで見られる。1羽でいることが多い。

59 ハクセキレイ *Motacilla alba* Linnaeus

冬季を主に正門付近で1, 2羽が見られる。

60 セグロセキレイ *Motacilla grandis* Sharpe

今回の調査では記録されていない。

61 ビンズイ *Anthus hodgsoni* Richmond

秋の渡りの季節、ごくまれに観察される。1998年10月29日館跡付近で観察された。

サンショウクイ科 CAMPEPHAGIDAE

62 サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus* (Raffles)

渡りの季節にまれに見られる。1998年8月6日水生植物園で、1999年5月2日シイ並木で観察された。

ヒヨドリ科 PYCNONOTIDAE

63 ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis* (Temminck)

通年見られるが、冬に極めて多く、100羽に達することもある。夏は数羽が見られるだけで、園内で繁殖はしていないようである。

モズ科 LANIIDAE

64 モズ *Lanius bucephalus* Temminck & Schlegel

冬季を中心に水生植物園で1, 2羽が見られる。

65 アカモズ *Lanius cristatus* Linnaeus

今回の調査では記録されていない。

レンジャク科 BOMBYCILLIDAE

66 キレンジャク *Bombycilla garrulus* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

ミソサザイ科 TROGLODYTIDAE

67 ミソサザイ *Troglodytes troglodytes* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

ヒタキ科 MUSCICAPIDAE

- 68 コマドリ *Erithacus akahige* (Temminck)

今回の調査では記録されていない。

- 69 ノゴマ *Luscinia calliope* (Pallas)

今回の調査では記録されていない。

- 70 ルリビタキ *Tarsiger cyanurus* (Pallas)

冬季に路傍植物園や武蔵野植物園、インセクトarium付近などで見られる。園路沿いの杭やロープに止まることが多いので確認率が高い。

- 71 ジョウビタキ *Phoenicurus auroreus* (Pallas)

冬季に水生植物園や現業舎の周辺で見られる。

- 72 ノビタキ *Saxicola torquata* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

- 73 トラツグミ *Zoothera dauma* (Latham)

まれに記録される。1998年12月9日三叉路付近、2000年1月29日サンショウウオの沢でいずれも藤村仁氏によって観察され、同年2月26日にはカワセミ池付近で、オオタカに捕食されたと思われる羽毛が見付かった。

- 74 クロツグミ *Turdus cardis* Temminck

春の渡りの季節まれに声が聞かれる。1999年5月2日に森の小道で観察された。

- 75 アカハラ *Turdus chrysolaus* Temminck

冬季に見られ、ツグミなど共に群れていることもある。ツグミに比べ数は多くない。春にはさえずりも聞かれる。

- 76 シロハラ *Turdus pallidus* Gmelin

冬季に園内全域で見られる。アカハラに比べ若干多く、春になるとさえずりが聞かれ、その後渡去する。

- 77 マミチャジナイ *Turdus obscurus* Gmelin

春と秋の渡りの季節に園内の樹冠部でややまれに見られる。

- 78 ツグミ *Turdus naumanni* Temminck

冬に園内全域で普通に見られる。個体数は年によって幅があり、多い年には100羽を超える群れが飛来することもある。

- 79 ヤブサメ *Urosphena squameiceps* (Swinhoe)

春の渡りの季節にまれに鳴き声が聞かれるが、1999年には1月10日に観察された。これは傷病により渡りができなかった個体と思われる。

- 80 ウグイス *Cettia diphone* (Kittlitz)

冬季を中心によく観察される。姿が見られるのはまれであるが、春にはさえずりも聞かれ、その後飛去する。まれに夏季にも観察例がある。

- 81 コヨシキリ *Acrocephalus bistrigiceps* Swinhoe

春の渡りの季節に水生植物園のヨシ原でまれに観察される。2000年6月4日に観察された。

- 82 オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus* (Linnaeus)

春の渡りの季節に水生植物園のヨシ原で比較的良好に観察される。

83 メボソムシクイ *Phylloscopus borealis* (Blasius)

春の渡りの季節にまれに鳴き声が聞かれる。1999年5月30日にシイ並木で亜種コメボソムシクイ *Phylloscopus borealis borealis* (Blasius) と思われるさえずりが聞かれ、同年8月30日、31日にはカワセミ池のVTRで記録された(亜種不明)。また2000年9月28日には正門付近で亜種メボソムシクイ *Phylloscopus borealis xanthodrays* (Swinhoe) が保護された。

84 エゾムシクイ *Phylloscopus borealoides* Portenko

春の渡りの季節にまれに鳴き声が聞かれる。2000年4月25日に正門付近で、翌26日には三叉路付近でさえずりが聞かれた。

85 センダイムシクイ *Phylloscopus coronatus* (Temminck & Schlegel)

春の渡りの季節に比較的良好に観察される。他のムシクイ類に比べ観察される期間が長いようである。

86 キクイタダキ *Regulus regulus* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

87 マミジロキビタキ *Ficedula zanthopygia* (Hay)

極めてまれ。通常キビタキとの識別が困難で、本種が観察されてもキビタキと記録されてきた可能性は否定できない。1999年5月15日にカワセミ池のVTRによって初記録された。

88 キビタキ *Ficedula narcissina* (Temminck)

春と秋の渡りの季節によく観察される。春には雄のさえずりが聞かれ、秋では雌タイプ(雄若鳥を含む)がオオルリなどと共に観察されることが多い。

89 ムギマキ *Ficedula mugimaki* (Temminck)

極めてまれ。1999年9月27日、同年10月21日にカワセミ池のVTRによって記録された。

90 オオルリ *Cyanoptila cyanomelana* (Temminck)

春と秋の渡りの季節によく観察される。キビタキと同様、春は雄のさえずりが記録され、秋は雌タイプが目視によって観察されることが多い。

91 サメビタキ *Muscicapa sibirica* Gmelin

秋の渡りの季節を中心に、まれに見られる。1999年9月23日、同年10月7日、8日、25日、2000年9月25日にいずれもカワセミ池のVTRによって記録された。

92 エゾビタキ *Muscicapa griseisticta* (Swinhoe)

秋の渡りの季節にまれに観察される。イモリの池沿いの高木の、樹冠で餌となる昆虫などを捕食しているようである。1998年10月15日にイモリの池付近で観察された。

93 コサメビタキ *Muscicapa dauurica* Pallas

渡りの季節にまれに観察される。2000年9月29日にひょうたん池付近で藤村仁氏によって観察された。

94 サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata* (Eyton)

ごくまれ。1999年8月25日にカワセミ池のVTRに記録されていた。移動の途中だと思われる。(写真2)

エナガ科 AEGITHALIDAE

95 エナガ *Aegithalos caudatus* (Linnaeus)

比較的珍しい。以前は冬季にはカラ類の群れと共に見られたというのが、調査期間中は記録されなかった。ただし調査期間外であるが、2001年4月10日頃、矢野亮氏によって本種のものと思われる巣が落下しているのが現業舎付近で見付かり、同月17日にカワセミ池のVTRに本種が2羽記録されていた。その後数度園内での観察例があり、園内で営巣を試みた可能性が高い。今後動向が注目される種の1つである。

シジュウカラ科 PARIDAE

- 96 コガラ *Parus montanus* Conrad von Baldenstein

今回の調査では記録されていない。

- 97 ヒガラ *Parus ater* Linnaeus

今回の調査では記録されていない。

- 98 ヤマガラ *Parus varius* Temminck & Schlegel

秋から冬に、シジュウカラなどの群れに混じってまれに観察される。今回のシジュウカラのなわばり調査中に本種がさえずっているのが矢作英三氏によって観察されており、園内で繁殖している可能性も否定できない。

- 99 シジュウカラ *Parus major* Linnaeus

通年多く見られ、園内での繁殖数は本種が最も多い。

ゴジュウカラ科 SITTIDAE

- 100 ゴジュウカラ *Sitta europaea* Linnaeus

今回の調査では記録されていない。

メジロ科 ZOSTEROPIDAE

- 101 メジロ *Zosterops japonicus* Temminck & Schlegel

通年よく見られる。冬季では特に多く、繁殖は営巣はするものの、落下している巣が見付かることがあり、ハシブトガラスの影響により成功はしていないようである。

ホオジロ科 EMBERIZIDAE

- 102 ホオジロ *Emberiza cioides* Brandt

冬季を中心に水生植物園でまれに見られる。

- 103 カシラダカ *Emberiza rustica* Pallas

冬季に水生植物園で数羽が見られるが多くはなく、渡りの季節の通過のものがほとんどである。

- 104 アオジ *Emberiza spodocephala* Pallas

冬季に園内の茂みで多く観察される。亜種アオジ *Emberiza spodocephala personata* Temminck と、頭部に灰色味のある亜種シベリアアオジ *Emberiza spodocephala spodocephala* Pallas とが混在しているようである。春になるとさえずりが聞かれ、その後渡去する。

- 105 クロジ *Emberiza variabilis* Temminck

姿の確認が難しい上、鳴き声もアオジと似ていることから、アオジとの識別が非常に困難であるが、

冬季アオジに混じって少数が渡来しているようである。

アトリ科 FRINGILLIDAE

106 アトリ *Fringilla montifringilla* Linnaeus

ごくまれに観察される。2000年10月27日にイモリの池付近で藤村仁氏によって観察された。

107 カワラヒワ *Carduelis sinica* (Linnaeus)

秋から冬を中心に正門付近や水生植物園で見られるが、まれに大きな群れが飛来することもある。本種は亜種カワラヒワ *Carduelis sinica minor* (Temminck & Schlegel) が中心と思われるが、渡りの季節などには亜種オオカワラヒワ *Carduelis sinica kawarahiba* (Temminck & Schlegel) と見られる群れが観察される。

108 マヒワ *Carduelis spinus* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

109 ベニマシコ *Uragus sibiricus* (Pallas)

冬季まれに水生植物園などで見られる。1998年11月4日、5日に水生植物園で、1999年3月31日に水鳥の沼付近で、2000年1月22日、同年11月4日には水生植物園で観察された（1998年11月5日を除いて藤村仁氏観察）。

110 ウソ *Pyrrhula pyrrhula* (Linnaeus)

冬季ごくまれに見られる。1998年11月23日に森の小道で見られ、同月25日にも桑原香弥美氏によって同所で観察された。

111 コイカル *Eophona migratoria* Hartert

今回の調査では記録されていない。

112 イカル *Eophona personata* (Temminck & Schlegel)

今回の調査では記録されていない。

113 シメ *Coccothraustes coccothraustes* (Linnaeus)

冬季園内全域で見られる。個体数は年によって増減があるようである。

ハタオリドリ科 PLOCEIDAE

114 スズメ *Passer montanus* (Linnaeus)

園路沿いで通年見られるが、園外に比べ個体数は多くない。

ムクドリ科 STURNIDAE

115 コムクドリ *Sturnus philippensis* (Forster)

今回の調査では記録されていない。

116 ムクドリ *Sturnus cineraceus* Temminck

水生植物園やカワセミ池周辺で見られるが、園内は本種が好む平地が少ないため、個体数は多くない。6～7月には周辺で繁殖したものと思われる家族群が観察される。

カラス科 CORVIDAE

117 カケス *Garrulus glandarius* (Linnaeus)

冬季を中心にごくまれに見られる。1999年10月10日にカワセミ池のVTRに記録された後、同月12日にひょうたん池の周辺で観察された。

118 オナガ *Cyanopica cyana* (Pallas)

冬季を中心に比較的良好に見られる。群れで行動していることが多い。早朝はあまり多くなく、10時前後から園内で見られるようになる。

119 ハシボソガラス *Corvus corone* Linnaeus

冬季まれに見られる。夕方の観察が多く、ねぐらに少数が飛来しているものと思われる。

120 ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos* Wagler

園内全域でよく見られる。夜間は集団ねぐらとして利用しているため午後から特に個体数が増加し始める。冬季に特に多い。

外 来 種

キジ目 GALLIFORMES

キジ科 PHASIANIDAE

121 コジュケイ *Bambusicola thoracica* (Temminck)

1995年頃までは見られたが、ネコなどの影響か、近年は見られていない。

ハト目 CORUMBIFORMES

ハト科 COLUMBIDAE

122 カワラバト(ドバト) *Colimba livia* Gmelin

通年見られるが、園内では多くない。園周辺では多く見られる。

インコ目 PSITTACIFORMES

インコ科 PSITTACIDAE

123 セキセイインコ *Melopsittacus undulatus* (Shaw)

今回の調査では記録されていない。

124 ホンセイインコ *Psittacula krameri* (Scopoli)

主に夕方上空を通過するのが観察される。園内に降りてくることはまれである。

なお、当園で確認されているものは、亜種ワカケホンセイインコ *Psittacula krameri manillensis* (Bechstein) である。

スズメ目 PASSERIFORMES

チメドリ科 TIMALIIDAE

125 ソウシチョウ *Leiothrix lutea* (Scopoli)

2000年9月に入園者によって撮影された。また、同時期に水生植物園にてガビチョウ *Garrulax canorus* (Linnaeus) と思われる鳴き声が聞かれたが、音声に関する資料が少なく、鳴き真似もするため本種であった可能性が高い。

カエデチョウ科 ESTRILDIDAE

- 126 ベニスズメ *Amandava amandava* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

- 127 ヘキチョウ *Lonchura maja* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

ハタオリドリ科 PLOCEIDAE

- 128 ホウオウジャク *Vidua paradisaea* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。

カラス科 CORVIDAE

- 129 カササギ *Pica pica* (Linnaeus)

今回の調査では記録されていない。九州地方に分布しているが、本園周辺で通常生息しているとは考えにくいので、人為的に持ち込まれたものとし、外来種に区分した。

引用文献

- 千羽晋示. 1969. 自然教育園の鳥類群集について。自然教育園報告, (1): 1-13.
- 千羽晋示. 1978. 自然教育園の鳥類について。自然教育園報告, (8): 75-106.
- 千羽晋示・坂元直樹. 1981. 自然教育園の鳥類について。新たに記録された鳥類などの追加。自然教育園報告, (12): 121-123.
- 千羽晋示・坂元直樹. 1985. 自然教育園の鳥類の記録 (1982~1984)。自然教育園報告, (16): 75-82.
- 千羽晋示・坂元直樹. 1989. 自然教育園の鳥類の記録 (1985~1988)。自然教育園報告, (20): 15-19.
- 千羽晋示・坂元直樹. 1992. 自然教育園の鳥類の記録 (1988~1991)。自然教育園報告, (23): 1-9.
- 西海功・柿澤亮三・紀宮清子・森岡弘之. 2000. 皇居の鳥類相 (1996年4月-2000年3月)。国立科学博物館専報, (35): 7-28.
- 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録改訂第6版。

Summary

It investigated about the bird of a garden in April, 2000 after August, 1998. 85 kinds of birds were recorded 65 times of censuses, and the observation record on the 350th.

All the numbers of kinds of the bird of a garden were set to 120 by this. It was set to 129 when the exotic species was also included.



写真1 1999年10月28日に保護されたアオバスク



写真2 1999年8月25日にカワセミ観察用のVTRに映ったサンコウチョウ